

特集

叢 広報たかやま

Takayama



令和6年[2024]

3月15日発行



photo 森とひとと木 撮影 T-Nakai
(高根町小日和田)

森林を守ることは、私たちの暮らしを守ること 「森林環境税(国税)」の課税が令和6年度から始まります

高山市の面積は約9割が森林です。森林は、水をきれいにする、土砂災害を防ぐ、人に癒しを与えるなど、私たちにとってなくてはならない存在です。そんな森林の未来を守るため、令和6年度より国税である「森林環境税」が課税されます。

この豊かな緑を未来に残すため、森林環境税について理解するとともに、今私たちができることを考えてみませんか。

問合せ 森林政策課 ☎35-3143

森林を守る「森林環境税」と「森林環境譲与税」

「森林環境税」は、国民に納税いただく国税の名称です。いただいた森林環境税は「森林環境譲与税」として、一定の基準により国から全国の都道府県と市町村に配分され、私たちの暮らしを支える森林を守るための大切な財源になります。



▲森林環境税・森林環境譲与税の詳細はこちら

森林の代表的な機能

温室効果ガスの削減

木々は地球温暖化の原因となる温室効果ガス(二酸化炭素)を吸収します。



自然災害の防止

木々が根を張ることで土砂崩れを防ぎます。また、下草や落葉・枝などが表土の流出を抑えます。



水資源の貯蓄・浄水

落ち葉が雨水をゆっくり土の中に浸透させ、洪水時の川の流れを調節します。さらに、染み込んだ雨水を浄化します。



森の恵み



森林環境税と森林環境譲与税の仕組み

国民



森林環境税

令和6年度から年間1,000円を個人住民税に上乗せして納税

市町村経由



国



森林環境譲与税

私有林人工林面積や林業就業者数、人口により配分(令和元年度より配分開始)



都道府県



市町村



森林整備に活用



木材利用・木材産業活性化 人材育成



森林環境譲与税を活用した高山市の取り組み

森林環境税の納税は令和6年度から始まりますが、森林環境譲与税の国からの配分は令和元年度から行われています。高山市へは、令和5年度に約1億9,000万円、令和6年度には約2億7,000万円が配分される予定です。

皆さんからいただいた貴重な財源を活用して、「100年先を見据えた森林づくり」を進めます。

① 森林整備

- 森林所有者への森林整備に関するアンケート調査
- 所有者境界の明確化への支援
- 森林作業道の維持管理への支援
- 人工林の間伐や再植林などへの支援



② 人材の育成・確保

- 林業に就業した移住者への支援
- 県立森林文化アカデミーへの修学支援
- 林業DXなどスマート林業の推進



③ 普及啓発など

- 市内で伐採した木材で建てる木造住宅への支援
- 広葉樹活用に向けた調査やシンポジウムの開催
- 木育や森林環境教育の推進
- 東京都千代田区と林業体験ツアーの実施
- 市民や企業からの提案による森づくりへの支援



高山市への森林環境譲与税推移

年 度	金 額
令和元年度	7,186万円
令和2年度	1億5,271万円
令和3年度	1億5,066万円
令和4年度	1億9,343万円
令和5年度	(予定)1億9,343万円
令和6年度	(予定)2億7,215万円

全国の都道府県と市町村に配分される「森林環境譲与税」は、私有林人工林面積、林業就業者数、人口によって配分税額が決定されます。面積の約9割が森林である高山市は県内で2番目に多い配分税額となっています。



私たちも森林を守っています！

令和5年度助成金を活用して

丹生川町小野町内会長 西分 靖史さん

小野町内では、何年もかけ網目の様に作業道を開設し、間伐・伐採・植林など山の手入れを行ってききました。

しかし、令和2年と3年に丹生川地域は大災害に見舞われ、林道もさる事ながら作業道も原形を留めない所ばかりでした。

林道は市の管理のため復旧が進みましたが、作業道は自力で行う必要があり、資金面からなかなか整備が進みませんでした。

そんな中、『高山市災害に強い森林作業道づくりに助成します』という広報を目にし、助成制度があることを知りました。森林環境譲与税を財源とした制度の活用で、修繕作業を早く進めることができました。現在は、短時間で現地へ行き、将来のため、山の手入れを行うことができます。



一緒に林業をやりませんか？

飛騨高山森林組合 尾藤 実さん

自然の中で体を動かしながら働くことができ、点に魅力を感じ、高山で林業に就業することを決め昨年3月に名古屋から移住しました。

実際に働いてみると、体力面や技術面など戸惑うこともありましたが、先輩方からのサポートもあり、充実した毎日を送ることができるようになりました。現在はチェーンソーを使った間伐など、育林作業を中心にしています。

山仕事をしていると、運動不足になることなく規則正しい生活リズムが身につきます。健康面へのポジティブな影響もこの仕事の魅力の一つです。

休日には、北アルプスに登山に出かけたり、近くの温泉で疲れを癒したりとプライベートでも山の恩恵を受けて生活しています。

林業就業者移住支援金は、1ターンで林業に就業した私にとって大変ありがたいサポートでした。皆さんもぜひ、自然豊かな高山で一緒に働きましょう。



森へでかけよう！木に触れてみよう！

森林環境譲与税を活用した令和6年度の注目事業

市産材を使用した木造建築の助成を拡大

これまでの柱材などへの助成に加え、市産材の良さが分かり視覚的な効果の高い内装材も新たに助成の対象とします。



事業費：2,970万円

木育をすすめます

多世代を対象に、森へ出かけたり木に触れたりする木育イベントを各地域のつどいの広場や12月開館予定の「ぎふ木遊館サテライト施設」などで実施します。



事業費：2,060万円

森林の推定地番図を整備します

地図上で、所有しているおおよその森林の場所が確認できるよう、地形図に公図を配置した「森林推定地番図」の作成をすすめます。



事業費：1,100万円

広葉樹活用に向けて取り組みます

市産広葉樹材の利用拡大に向け、市有林の調査や林業、木材関係者との連携を目的としたシンポジウムを開催します。



事業費：580万円

問 森林環境税の制度などに関すること
森林環境譲与税の活用に関すること

税務課 ☎ 35-3626
森林政策課 ☎ 35-3143

編集・発行／高山市市長公室広報公聴課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL/0577-32-3333(代)
FAX/0577-36-2060 (市長室直通)
FAX/0577-35-3174 (広報公聴課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp
HP/https://www.city.takayama.lg.jp/
防災行政無線の内容は電話でも確認できます
☎050-5536-7071